

2025年7月24日所長会見 所感

- 本日私からは、4点お伝えいたします。1点目は6号機の健全性確認の進捗状況についてです。
資料1をご覧ください。
- 7月10日の菊川による定例記者説明会で、制御棒駆動機構の制御盤において端子台に不具合があったことをお伝えしました。
当該端子台は交換を行い、7月12日に制御棒駆動機構の動作に問題ないことを確認しております。なお、不具合の原因については、引き続き調査を行っております。
- このため、③の制御棒駆動機構の機能確認については一旦立ち止まり、④の原子炉格納容器漏えい率確認を先に実施し、7月18日に異常がないことを確認しております。
- なお、原子炉内蔵型再循環ポンプの試運転を行っていた際、運転データに異常はないもののモーター近傍で異音を確認しました。
- これを受け、今後の運転に万全を期すためにも、予備のモーターと入替を行うこととします。
- 再循環ポンプは圧力容器を貫通するように設置されているため、モーター入替を行った後、あらためて当該箇所のみ、②の「圧力容器漏えい確認」を行います。
- また、あわせて格納容器の入口の一部も開ける必要があることから、開けた箇所は、④の「格納容器の漏えい率確認」を再度、実施する予定です。

- 引き続き、安全を最優先に、何かあれば立ち止まり、一つひとつ確認しながら、6号機の起動準備を進めてまいります。
- 2点目は、2月27日に発生したモニタリングポスト等の一時的な測定データ表示不良に関する原子力規制庁からの指摘事項についてです。
- 本件については、昨日23日に、原子力規制庁のホームページの原子力規制検査報告書（案）の中で、原子力安全に係る重要度評価の結果、重要度は「緑」と示されております。
- 重要度「緑」とは、安全確保の機能・性能への影響が限定的かつ極めて小さく、事業者の是正措置プログラムにより改善が見込まれるというものです。
- 当社のモニタリングポスト設備は、測定データ自体の伝送における多様性は確保しておりました。一方で、5号機緊急時対策所の測定データに合わせて伝送している時刻データの同期手段が、有線回線のみで、多様性を有していないといった指摘を受けたものです。
- このため、対策として、5号機緊急時対策所に、無線回線による時刻サーバーを追設し、使用前事業者検査は明日25日に整う予定です。これにより、時刻データの同期手段の多様性は確保できると考えております。
- 3点目は、7月17日の規制庁主催の訓練報告会の場で示された、2024年度の訓練評価結果についてです。

- 2023年度の訓練では、通報文の誤記や規制庁への報告に課題がありました。そのため、通報文作成ツールの改良・チェック体制を見直すとともに、規制庁からの質問を電子ホワイトボードで管理し、漏れなく回答を行うことや、書画を用いて視覚的にも分かる形で説明を行うといった改善を図りました。
- 毎月、総合訓練を繰り返し、対応力の強化を図る中、2024年度の評価訓練では、大きな課題はなく、全て A 評価を得ることができました。
- しかしながら、緊急時対応能力の向上には終わりはありません。今後も、多様なシナリオによる訓練を重ね、確認された課題を一つひとつ改善に繋げていくことで、地域みなさまにご安心いただけるよう、取り組んでまいります。
- 最後に、本日から、「ぎおん柏崎祭り」が始まります。今夜行われる、「民謡街頭流し」には、15年振りに、私も含め所員有志の約120名で参加する予定です。地域の皆さまとともにぎおん柏崎祭りを楽しみたいと思います。
- また、26日の「海の大花火（おおはなび）大会」では、社長の小早川も鑑賞し、翌朝に行う、みなとまち海浜公園での清掃活動に、昨年に続き参加する予定です。
- 地域の皆さまと一緒にあって、地域を盛り上げ、発電所の志に掲げた、「地域を愛し、地域に愛される発電所」を目指してまいります。